

## R6. 3. 3

# 寄宿舎 Q&A集

Q1 寄宿舎と学校はどのくらい離れていますか。

A1 学校からは約 2.5 km、徒歩では約 30 分、バスで約 6 分の距離です。登校時はスクールバス、下校時には徒歩、スクールバス（時間指定）または路線バスとなっています。朝練や補習が実施される場合には早出とあって、特別に 7 時 00 分から 7 時 20 分までの出寮が認められ、徒歩で登校することも可能です。

Q2 日常生活に必要な物は購入できますか。

A2 寄宿舎には、ジュースなどの自動販売機が設置されており、飲み物の購入が可能です。また、学校周辺には日用雑貨、食品、雑誌などを取扱う商店が数軒ありますので、下校時や外出時間を利用して購入することができます。

Q3 寄宿舎にはどのくらいの生徒がいますか。

A3 男子 136 名、女子 32 名の合計 168 名（令和 5 年 4 月 1 日時点）で集団生活を行っています。

Q4 寄宿舎には何人の先生がいますか。

A4 舎監長と専任舎監 4 名の計 5 名がいます。2 名が交代で勤務しています。生徒帰舎後は、学校から 2 名の教員が交代で寄宿舎生の生活指導にあたっています。

Q5 寄宿舎の共同生活でどのような点に注意する必要がありますか。

A5 ○ルールを守る。

寄宿舎はみんなの場所です。自分も他人も大切にするために、ルールが決められています。共同生活の基本です。

○他人を大切にする。

寄宿舎では全く違う環境で暮らしてきた人たちが 1 つの部屋で生活します。考え方が違っていても当たり前です。自分の考えをはっきりと主張しつつ、相手の主張もよく聞き相手を認めていく必要があります。

○自分を飾らないで自分自身を大切にする。

自分自身に厳しさをもって、自分自身をコントロールできるようになりましょう。24 時間、他人と一緒に生活です。偉そうにしたり、悪ぶったりしても、結局は見せかけなので長続きしません。友人関係を悪くするだけです。

○自分の身のまわりを整理整頓する。

共同部屋です。汚い部屋は同室の者に迷惑をかけます。整理整頓は共同生活の最低のマナー（礼儀、行儀）、モラル（道徳、倫理）を守ることです。

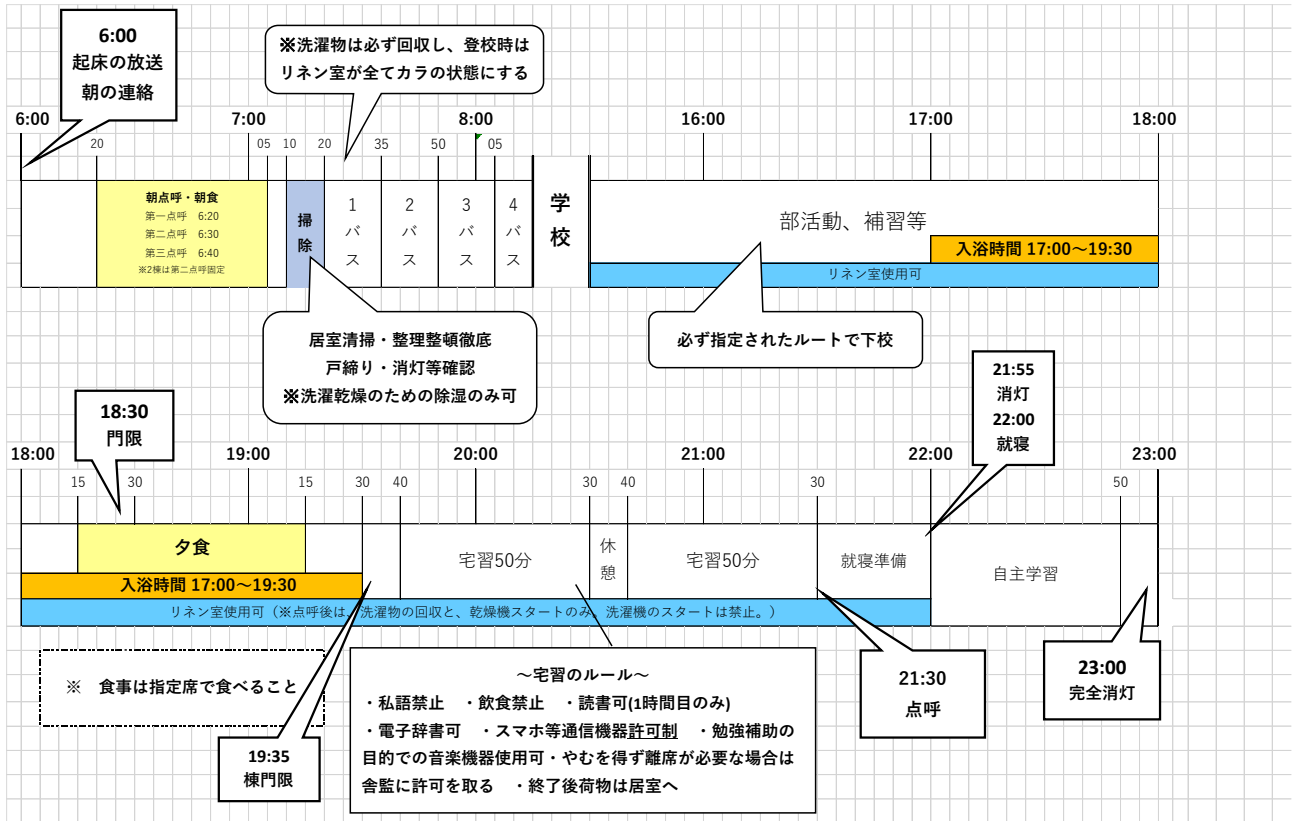
Q6 日課はどのようになっていますか。

A6 以下の日課表を御覧ください。

日課表以外にも委員会活動や清掃など共同生活を維持していく上で必要な活動があります。

以下は、日課表の一例です。

寄宿舎日課表（平日）



Q7 寄宿舎の食事はどのようになっていますか。

A7 3食とも寄宿舎で食事を用意します。授業日の昼食については、学校へ弁当が運ばれます。1日平均2,700キロカロリーで、栄養バランス等が考慮された献立が作られています。費用については1日1,300円（令和4年度実績）です。食物アレルギーをはじめ、その他食事に関して不安のある方は、必ず本校までお問い合わせください。なお、好き嫌いに関する対応はできません。

Q8 寄宿舎のお風呂はどのようになっていますか。

A8 風呂は男女とも大浴場が一つずつあります。入浴時間は、17:00～19:30（休日は、16:00～20:00）までの時間に使用できます。

Q9 学校が休みの時はどのような生活を過ごしていますか。

A9 決められた時間内で寄宿舎外を散歩したり、ジョギングをしたりすることができます。また、部活動や委員会活動などを行いながら過ごしています。

Q10 寄宿舎は何人部屋ですか。

A10 同学年3名で1部屋を使用しています。（ただし、2名で1部屋を使用する場合があります。）

Q11 寄宿舎の部屋にはどのようなものが備え付けられていますか。

A11 ベッド、机、いす、ロッカー、ファンシーケース3段重ねケース（サイズは高さ65cm×幅39cm×奥行74cm）2個が各自に用意されています。また、エアコン、トイレも備え付けてあります。

Q12 寄宿舍のベッドのサイズを教えてください。

A12 ベッドの大きさは二種類あります。両方ともシングルサイズ（100cm×210cm）で対応が可能です。布団を新しく用意する方は購入したお店などから直接寄宿舍に送ってもらうのもひとつの方法です（5日～7日くらいかかる場合があります）。大島は湿度が高く、除湿剤（シートタイプ）を用意することを推奨します。

Q13 寄宿舍生活での個人の荷物量はどのくらいですか。

A13 3段重ねのファンシーケース（1個のサイズは、高さ65cm×幅39cm×奥行74cm）を2個用意しています。これに収まる程度の荷物量です。

Q14 寄宿舍に除湿機の持ち込みはできますか。

A14 6月以降の大島の湿度は非常に高いです。申請すれば許可しますので申し出てください。

Q15 寄宿舍の部屋はずっと一緒ですか。また、部屋替えの頻度はどれくらいですか。

A15 1年に数回、部屋替えを行います。

Q16 寄宿舍の棟内設備や貸し出し備品にはどのようなものがありますか。

A16 共同で使用する備品として洗濯機、乾燥機、冷蔵庫とポットがあります。さらに、アイロンや布団乾燥機、掃除機、延長コードも貸し出します。

Q17 寄宿舍ではどこで洗濯を行えばよいですか。

A17 居室棟にはリネン室があります。4人につき1台程度のため、時間を見計らって空いている洗濯機、乾燥機を使用します。液体洗剤とランドリーバッグがあると便利です。また、小物用に洗濯ネットを必ず用意してください。

Q18 寄宿舍内での生徒の様子は誰に聞けばよいのですか。

A18 常時、学級担任と専任舎監が連絡をとっております。原則として、専任舎監と連絡をとっていただきますが、学級担任に連絡して頂いてもかまいません。また、寄宿舍から御家庭に直接連絡する場合があります。

Q19 寄宿舍において、外線電話は取り次いでもらえますか。

A19 保護者からの連絡を伝言することはできますが、生徒への取り次ぎなどはできません。また、伝言は、19時30分までとしています。

Q20 寄宿舍において、FAXは送れますか。

A20 電話と同じ番号で送れます。19時30分まで受付しています。自動受信ではないので送信する時は事前連絡をしてください。ただし、原則として寄宿舍から私的な送受信はできません。

Q21 住民票が必要な場合は、どうすればいいですか。

A21 各自、寄宿舍近くの大島波浮港出張所にて申請できます。

転入・転出の手続きは寄宿舍が行います。その他不明な点については寄宿舍までご連絡ください。

それ以外の手続き（パスポートの取得など）は、HR担任や専任舎監に申し出て許可を得た上で、下記までバスで行って済ませてください。

〒100-0101 東京都大島町元町1-1-14 大島町役場 住民課 住民係 TEL: 04992-2-1448
---

Q22 在学証明書はどこで発行してもらえますか。

A22 在学証明書は、学校の経営企画室で発行します。窓口又は郵送で申請してください。なお、在校生は手数料不要です。

申請先 〒100-0211 東京都大島町差木地字下原  
東京都立大島海洋国際高等学校 経営企画室 証明書発行担当  
TEL: 04992-4-0385

Q23 おこづかいの金額や保管方法を教えてください。

A23 寄宿舎の管理棟に金庫があります。金庫の中には個人用のケースを用意しています。金庫の管理は専任舎監が行っています。貴重品・印鑑・保険証は金庫に預けています。おこづかいの金額は特に設けていませんが、トラブルの原因になりやすいので、高額なお金や高価なもの、不要なものなどは持ち込まないように指導しています。

Q24 子どもにお金をどのようにして送ったらよいですか。

A24 寄宿舎の近くに郵便局がありますので、ATMでおろすことができます。詳しくは、郵便局のホームページを御覧ください。

Q25 寄宿舎での郵便物や宅配便の受け取りはどうなりますか。

A25 ○郵便物・宅配便ともに、専任舎監が受け取りファイルに記入します。

○自分でファイルを見て、届いていることを確認します。

○届いている場合は、ファイルに受け取りのサインをし、専任舎監から直接受け取ります。

○着払い、代引、冷蔵冷凍品などの受け取りは許可していません。

○帰省中など閉寮期間中は受け取ることができません。

Q26 寄宿舎各棟のインターネット環境についてはどのようになっていますか。

A26 制限はありますが、使用できる環境になっています。

Q27 寄宿舎での宅習時のPCの使用について教えてください。

A27 個人が契約している学習コンテンツや進路関係や調べ学習など学習に関わるすべてのことに利用することができます。

Q28 自転車を使用することはできますか。

A28 寄宿舎の生徒は、自転車の使用を禁止しています。大島の道路は、道幅が狭く、坂やカーブが多いため自転車は危険であり、平日・休日とも使用禁止としています。また、自転車と同様にスケートボードやキックボードも禁止です。

Q29 週末を利用して自由に帰省したり、旅行したりするなどの外出はできますか。

A29 原則として、通院、受験、冠婚葬祭に伴う外泊、帰省などは認めています。自己都合の旅行などは認めていません。学校が認めた場合でも保護者からの連絡申請が必要となります。その際には高速船(ジェットfoil)の乗船と路線バスでの移動が原則です。緊急時を除いては、予定日の3日前までに専任舎監へ申請します。また、外出については許可制で外出可能な範囲も定められています。

Q30 個人で帰省、帰寮する際に学割は使えますか。

A30 学割は使えますが、学割で船に乗るより島民割引でチケットを購入の方が割安です。生徒証明書を提示することで、島民であることの証明ができます。チケットは事前に電話で予約が可能です。

- Q31 帰省のたびに、荷物を全部持って帰るのですか。  
A31 荷物を全部持って帰る必要はありません。帰省中は、寄宿舎で預かります。
- Q32 一斉帰省中や長期休業中は寄宿舎を使用できますか。  
A32 一斉帰省中や長期休業中は寄宿舎を閉寮します。その期間、生徒は保護者のもとへ戻ることになり、寄宿舎を開放することはできません。
- Q33 竹芝から学校に行く場合の経路や所要時間はどうなっていますか。  
A33 ① 竹芝から船で大島にくる場合、高速船(ジェットfoil)を利用すると1時間45分です。大型客船(約8時間)は、安全面・健康面を踏まえ、生徒だけの利用を禁止しています。  
② 大島の到着港は、元町港と岡田港があり、天候によってその日ごとに到着港が変わります。  
港からは、路線バスまたはタクシーの利用となります。路線バスは、岡田港からは元町港で乗り換えになります。乗車時間は、岡田港→元町港(約20分)、元町港→海洋国際高校前(約30分)ですが、バスの本数が少ないので、長い時間待つこともあります。(バスは毎日7:00~18:00の間9本程度です)詳しくは東海汽船、大島バスのホームページで確認してください。
- Q34 東海汽船に持ち込める荷物のサイズと重量はどれくらいですか。  
A34 高速船内に無料で持ち込める手荷物の大きさは3辺(縦+横+奥行き)の和が120cm以下、総重量は20kg以下までです。3辺の和が120cm超または、総重量が30kgまでのものは、有料で1000円徴収されます。3辺の和が200cm超または、総重量30kg超は持ち込み不可です。詳しくは東海汽船、大島バスのホームページで確認してください。
- Q35 休日や放課後などアルバイトはできますか。  
A35 大島でのアルバイトは認めていません。
- Q36 寄宿舎で植物や小動物、爬虫類、昆虫などの飼育はできますか。  
A36 できません。また、大島には、茶毒蛾や毒虫がいますので、ベランダで植物を栽培することもできません。
- Q37 寄宿舎に釣竿を持ってきてもよいですか。  
A37 釣竿の持ち込みは可能です。各自、部屋のロッカーに収納している生徒が多いです。
- Q38 寄宿舎の生徒が使用している居室の中を見ることはできますか。  
A38 寄宿舎見学会や学校説明会での寄宿舎見学の際に見ることが出来ます。その他の日については、生徒が生活していますので、プライバシーの観点からお断りさせていただいております。
- Q39 電子機器(スマートフォンやタブレットなど)の持ち込みは可能ですか?  
A39 可能です。ただし、持ち込む場合には申請が必要になります。また、電子機器の回収は行っていませんが、消灯後(22時以降)から起床(6時)までの使用は禁止としています。
- Q40 急病人が出た場合、どのように対応していますか?  
A40 発熱(37.5℃以上)や嘔吐などの感染症の疑いがある場合には、部屋を移動して、他の生徒と接触しないようにしています。症状が治まらない場合には、大島医療センターを受診することもあります。それでも回復しない場合には、都内の病院で受診していただくこともあります。(令和6年度からは)寄宿舎の養護教諭に診てもらったからの判断になります。
- Q41 インフルエンザなどの感染症に罹患した場合、どのように対応していますか?  
A41 感染した生徒は、他の生徒と接触しないよう部屋を移し、療養期間終了まで隔離しています。療養期間中に体調が回復した場合には、オンライン授業を受けることも可能です。